

厚別区・白石区・清田区・江別・北広島・恵庭・千歳地区

平成 24 年度 第 2 回ミニリハビリテーション連絡会

日時：平成 25 年 3 月 6 日（水）19：00～20：30

場所：厚別区民センター

参加人数：20 名

こんな時、主治医に相談しますか？

【ケース①】

80 代女性

- ・病歴：機能から発熱が続いていると娘から相談。本人も「ちょっと調子が悪いかも…。」
- ・身体所見：血圧 108/78mmHg、脈拍 120、体温 37.7℃、呼吸数 36/分

上記のケースのように利用者様の調子が悪そうな時、転倒した場合など緊急で主治医に連絡するべきか？少し様子を見るべきか……。また連絡する場合はどのように事態を報告すべきか？



今回はリスクサイン、フィジカルアセスメントを中心に昨年 12 月に行われた 2 つの研修会の伝達講習を行いました。

北海道三士会合同訪問リハビリテーション実務者研修会で栄町ファミリークリニックの松田諭先生が「～見逃していませんか、リスクサイン！今日からあなたも家庭医と同じ目線になれる～」をテーマに講演された内容を新札幌パウロ病院の高見さん

が発表し、続いてアメリカから一時帰国されていた一色史章氏が「訪問リハビリテーションにおけるフィジカルアセスメント ～利用者さんの命を預かる覚悟ができていますか～」というテーマで講演された内容を新札幌パウロ病院の竹中さんが発表しました。二人とも具体的なケースを通して参加者の皆さんが一人一人考えられるような内容でした。資料を作る中で企画側も勉強になりましたし、参加者の方から「再確認することができました。明日から注意してみたいと思う。」といったご感想も頂く事ができました。

